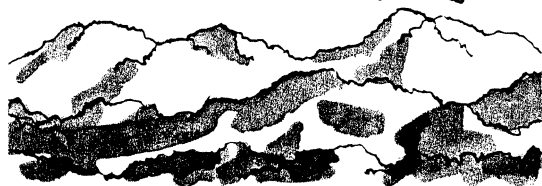


お国自慢



(株)川崎技研

成田市・富里市



「静」と「動」をあわせ持つ成田市、「緑」と「農」に抱かれる富里市 …… 成田富里いずみ清掃工場 ……

1. はじめに

◇成田市

成田市は、千葉県の北部中央の北総台地に位置し、面積 214km²、人口約 13 万人の都市です。市の北部は、茨城県と接し、坂東太郎・利根川が流れ、西部は、県立自然公園に指定されている印旛沼が広がっています。豊かな自然と肥沃な大地に恵まれた田園都市として、また古くから霊場として名高い成田山新勝寺や、農民を救うため尽力された義民佐倉宗吾を祀る宗吾霊堂を中心に、風情豊かな門前町として多くの参詣客で賑わってきました。

昭和 53 年には、日本の空の玄関口として、成田国際空港が開港し、世界各国から多くの人々を迎え入れ活気に満ちており、「静」と「動」、2つの顔をあわせ持つ歴史と調和した国際観光都市にふさわしいまちづくりを目指しています。

◇富里市

富里市は、面積約 54km²、人口約 5 万人の都市です。豊かな緑とみずみずしい農の恵みに抱かれています。すぐ隣には、成田国際空港があり、空港周辺市町として、空港とともに発展してきました。富里の基幹産業はなんといっても農業です。季節ごとに収穫されるさまざまな農産物、特に、今では全国的にも名が知られている「富里すいか」や出荷量全国有数をほこる富里産にんじんなど、どの農産物をとっても、美味しさ「日本一」を自負しています。

2. 施設の概要

成田市と富里市では、従来それぞれで一般廃棄物の処理が行われておりましたが、両市が所有するごみ焼却施設はともに老朽化が著しく、これらに代わる新しい施設を整備することが共通の重要な課題でした。こうした中、事業の効率化や経費削減等の面から、隣接する両市の共同事業として建設工事を進めていた成田富里いずみ清掃工場が完成しました。本施設では、両市から排出される約 18 万人分のごみを処理しています。

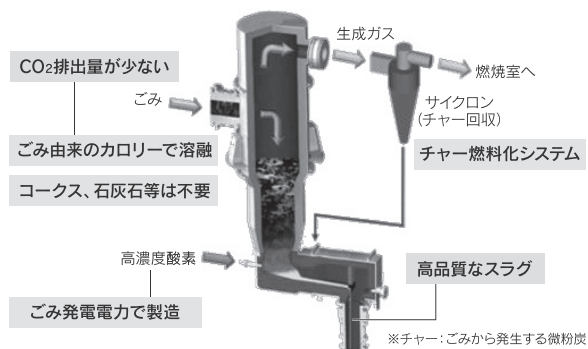


施設名称：成田富里いずみ清掃工場
所在地：千葉県成田市小泉 344 番地 1
処理方式：ガス化溶融炉（シャフト式）
処理能力：212t/日（106t/24h × 2 炉）
発電能力：3,000kW
敷地面積：約 36,000m²
工期：平成 21 年 9 月～平成 24 年 9 月
設計施工：川崎技研・株木建設特定建設工事共同企業体

3. 施設の特徴

1) ごみはスラグに

ごみはガス化溶融炉内で酸素による高温燃焼で溶融され、炉底より連続的にスラグとして排出されます。水冷されたスラグは磁選機でスラグとメタルに分け、各々有効利用されます。



酸素式熱分解直接溶融システム

2) 排ガスは無害化

ガス化溶融炉で発生したガスは燃焼室で空気により完全燃焼されます。

燃焼排ガスはボイラーで熱回収後、減温塔で冷却し、有害物質をろ過式集じん器で捕集除去します。その後、触媒脱硝装置で窒素酸化物、ダイオキシン類を除去し、クリーンなガスとして煙突より排気されます。

3) 飛灰の安全処理

ボイラー、減温塔、ろ過式集じん器などで捕集された飛灰はキレートの添加により無害化処理され、場外に搬出されます。また、無処理飛灰はエコセメント原料として有効利用されます。

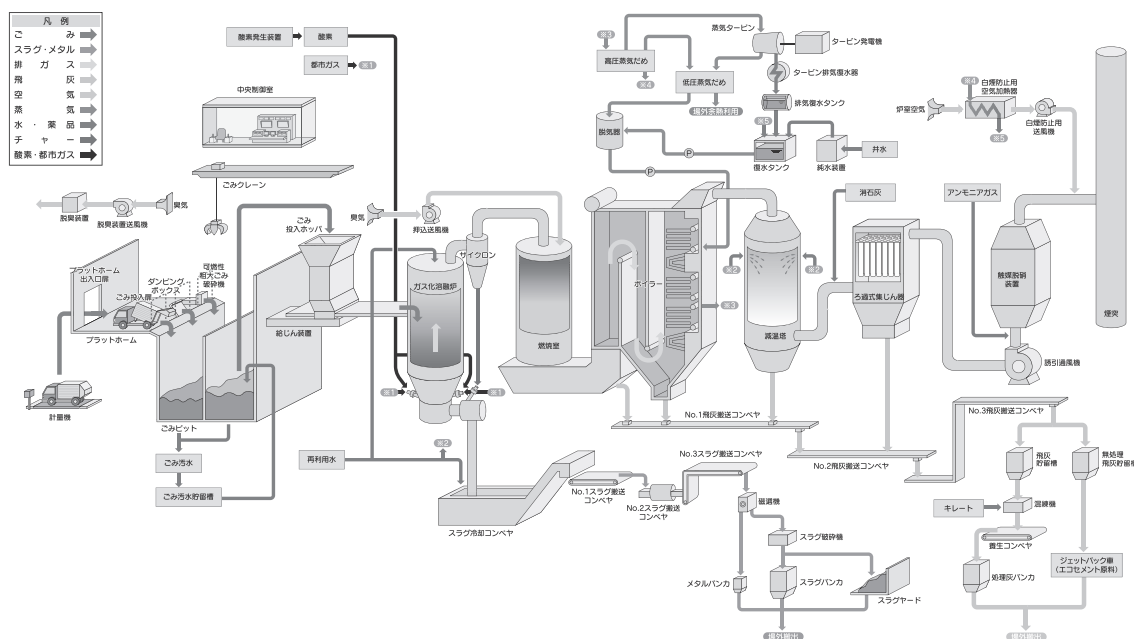
4) 余熱の有効利用

余熱はボイラーで熱回収した蒸気で蒸気タービンを駆動させ、発電機で発電します。発電した電力で場内の電力を賄うとともに余剰分は売電します。そのほか、場外余熱利用施設に熱供給を行います。

4. おわりに

本施設は、稼働してから間もない状況ですが、順調に稼働しています。今後も本施設の管理・運営にあたり、安全かつ安定したごみ処理を継続できるよう万全を期し、永く地域の資源循環型社会の構築に向けて貢献してまいりたいと思います。

結びに、本施設の建設にあたり、特段の御理解と御協力をいただきました地元の皆さまをはじめとする関係各位に心から感謝申し上げます。



成田富里いずみ清掃工場 処理フローシート

成田市・富里市の紹介

●成田市

◇成田祇園祭



成田祇園祭は、成田山新勝寺のご本尊不動明王の本地仏である奥之院に奉安された「大日如来」に五穀豊穡・万民豊楽・所願成就を祈願する「成田山祇園会」と、成田山周辺の町内が一体となり行われる夏祭りで、約300年の歴史があります。

祇園会期間中の7月7～9日に直近の、金・土・日の3日間(平成24年は6日～8日)成田祇園祭が開催され、成田の街はお祭りムード一色に染まります。成田山の御輿と豪華絢爛な山車、屋台が賑やかなお囃子の音色や威勢のよいかげ声と共に成田山へ続く参道を中心に巡行します。

(FEEL 成田 - (社)成田市観光協会オフィシャルサイトより)

◇成田山新勝寺



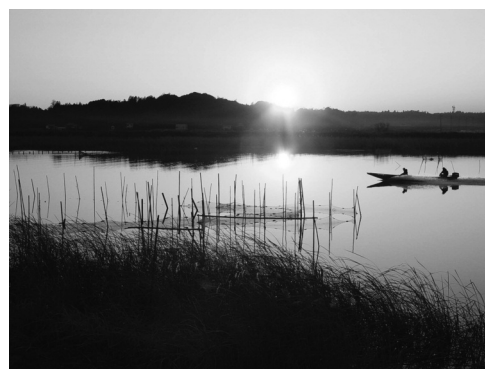
「成田のお不動さま」の愛称で親しまれている成田山新勝寺は、真言宗智山派の大本山です。1,000年以上の歴史をもつ全国有数の霊場で、成田を代表する観光地であり、正月三が日には約300万人、年間約1,000万人以上の参拝客が訪れます。

成田山新勝寺では、平成20年に開基1,070

年祭記念大開帳が行われました。これにあわせて、平成19年11月には総擲造りの総門(写真)が落慶され、新勝寺の表玄関として荘厳なたたずまいを見せています。

(FEEL 成田 - (社)成田市観光協会オフィシャルサイトより)

◇印旛沼



今は県立自然公園になっており、夕景の美しさには定評があります。その美しさからは、かつて水害で近在の人々を苦しめた印旛沼を思い起こすことはできません。もともと下総台地の浸食谷の出口が、利根川の堆積物によってせき止められてできたといわれています。

(成田市ホームページより)

●富里市

◇富里スイカロードレース大会



富里といえばスイカ、大好評の「給スイカ所」で乾いた喉を潤しながら走るユニークなレース、それが富里スイカロードレース大会です。富里すいかの収穫最盛期を迎える6月に開催されます。例年ゴール後の会場にもスイカサービスコーナーが開設され、完走後に食べるスイカの味もまた格別です。(富里市ホームページより)